

きらり

3

2020 MARCH



可憐で強い
マーガレットのように
農業で、花咲く！

【あぐりスペシャル】
大切な農地を、
未来へつなぐために。

～香川県農地機構との連携を進めています～

【らいふスペシャル】

JA香川県の「支店協同活動」

2019年度
vol.3

JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

大切な農地を、 未来へつなぐために。

～香川県農地機構との連携を進めています～

相続や、高齢化による離農などで、農地をどうしよう?という人が増えています。

一方で、規模拡大したい担い手や、新規就農者は、農地を求めています。

農地は、環境保全や災害防止の役割も担っている地域の大切な“宝”です。

耕作放棄した期間が長いと復元が困難になることもあり、次世代へのスムーズな継承が急務となっています。

今月は、その最前線の機関「香川県農地機構」の取り組みを紹介します。

貸し手・借り手ともに、安心してご利用いただけます。

農地機構は、市町の農業委員会などに農地集積専門員を配置し、農業委員会と連携し、農業者のきめ細かなニーズに対応しています。また、現在、「人・農地プラン」の実質化に向け、今後の農地利用のためのアンケート調査や地域の話し合いが進められています。この結果をもとに、農地機構では農地の貸借を進めていくことと

しています。

役割を担っています。農地機構は、市町の農業委員会などに農地集積専門員を配置し、農業委員会と連携し、農業者のきめ細かなニーズに対応しています。また、現在、「人・農地プラン」の実質化に向け、今後の農地利用のためのアンケート調査や地域の話し合いが進められています。この結果をもとに、農地機構では農地の貸借を進めていくことと



公益財団法人 香川県農地機構
専務理事 事務局長
井之川 育篤さんに
聞きました。

農地に関する情報を着実におつなぎします。

また、今後は、相続や離農などで農地を貸したい人の情報をより把握できるよう、香川県農地機構などと連携して各地域単位で相談会を開催することも計画しています。組合員や地域の皆さまの農地に対する疑問や悩みに応えることで、スムーズな貸借に貢献していきます。

これまで、農地に関する相談があった場合には、香川県農地機構や各市町の農業委員会をはじめとする関係団体に着実につないでまいりましたが、同プラン推進の二環として各地区で開催している「担い手農業者との意見交換会」において、「農地を借りたいが、その方法や窓口がわかりにくい」という意見をいただくことがありました。そこで、相談受付の最前線となる支店・ふれあいセンターなど、いずれの部署にお問い合わせいただいても、関係団体との情報共有化により対応できるよう、農地の出し手・受け手に関するフローチャートを作成して情報共有を徹底することとしました。



JA 香川県 営農部 営農企画課
伊賀 裕之 課長に
聞きました。

JA 香川県では、第6次中期経営計画の農業振興プランの中で、農地の保全・流動化や集落営農の運営支援に取り組み、農業生産基盤の維持・拡大を図ることとしており、その1つとして、「農

香川県農地機構の
ココが安心ポイント!

- ① 知事指定の公的機関が貸し手・借り手の間で調整。各種補助金などの手続きもスムーズで安心!
- ② 貸借には契約期間を設定(6年以上で更新可)。「先祖代々の農地を手放したくない」という方にも安心!
- ③ 賃料を伴う場合は、機構から確実に振り込むので安心!

公益法人香川県農地機構
高松市松島町一丁目17番28号
香川県高松合同庁舎5階 TEL087-831-3211

香川県農地機構

検索

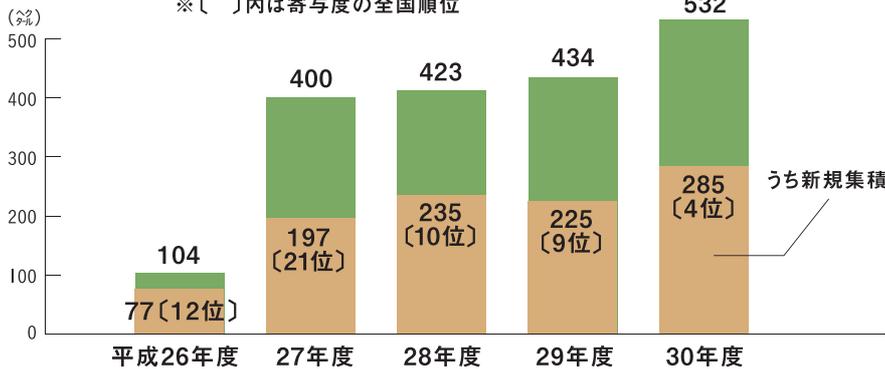
農地貸借の仕組み

香川県農地機構が、離農者や規模縮小農家等から農地を借り受け、経営規模の拡大を図る担い手や新規就農者等がまとまりのある形で農地を利用できるよう配慮して貸し付けます。



香川県農地機構の転貸面積(単年度実績)

※〔 〕内は寄与度の全国順位



平成30年度、同機構が借り入れた面積は523㊦。担い手への転貸面積は、29年度を23%程度上回る532㊦。そのうち非担い手から担い手に新たに貸借された面積は285㊦でした。年間集積目標(1,270㊦)に対する同機構の寄与度は22%で、全国4位。前年の9位から大きくアップしました。

平成28年には、JA香川県や香川県農業会議など県内の農業関連10団体で協定書を交わし、連携して取り組んでいく体制を強化しました。地元の農業・農家の情報は、直に接するJA香川県が第一の窓口になる機会も多く、情報も集まりやすいと思いますので、今後とも密接に連携して、香川県の豊かで多彩な農地を守っていかせたいと考えています。組合員・地域住民の皆さまのご協力をお願いいたします。

農地機構利用者(担い手)の声

けんたろう
杉本 敬太郎さん(31歳)
【善通寺市中村町】

〔栽培品目と面積〕

水稻20㊦・はだか麦150㊦・ブロッコリー450㊦・ニンニク40㊦・ナバナ20㊦・スイートコーン100㊦・青ネギ10㊦・ナス10㊦(うち農地機構利用分296㊦)

就農して4年目です。最初の2年間は兼業で水稻のみでしたが、周りが高齢者ばかりで農業の担い手がないことを実感。専業に転じ、周りの農地を借り、面積を拡大して今では4名を雇用しています。農地機構を通して契約書の取り交わしや助成金など各種の支援を受けることもでき、安心感がありますね。

現在はブロッコリーの最盛期。多度津ブロッコリー部

会に所属し、作業適期を守り、土づくりや排水対策、輪作にも気を付けて栽培しています

農業は、毎年同じようにはいなくて難しいと感じることもありますが、毎年自分なりに工夫したり、新しいことに挑戦したりというやりがいもあります。経営を安定させ、若い世代が農業に参入しやすい環境づくりに努めていきたいと思っています。





JA香川県の 「支店協同活動」

本年度最後の「支店協同活動」の報告は、季節感や手作りで来店者をおもてなしする「魅力ある店舗づくり型活動」と、職員や女性部一丸となって企画・運営する「イベント型活動」。いずれも、組合員や地域の皆さんの笑顔が見たいと張り切って取り組んでいました。



植田支店は、「魅力ある店舗づくり型活動」の一つとして、女性部員と職員が協力して、「おはぎ」を手作りし、日頃お世話になっている組合員や利用者の皆さま(来店者120人)に振舞いました。

当日は、職員や女性部員が来店者に笑顔で声掛けしておはぎを手渡しました。今後もこのような活動を通じて、「また来店したい」と言ってもらえるような支店づくりを目指します。

【中央地区】

「手作りおはぎ」で
笑顔のふれあい

植田支店

女性部の「手作りおはぎ」を
来店者へ振舞い

2月5日(水)

参加者:女性部員6人、職員12人



【仲多度地区】

“マメに幸せ”を願って
節分豆をプレゼント

法熟寺統括店

節分豆の配布

2月3日(月)

参加者:職員15人



法熟寺統括店管内の4支店は、来店者に季節の行事を楽しんでもらい、職員との対話につなげようと、5年以上前から節分の日に豆菓子をプレゼントしています。

今年は、4支店合わせて約600人に配布しました。

節分豆の配布は、来店者からはとても好評で、毎年楽しみに来店してくれる方もいます。「魅力ある店舗づくり型活動」として、これからも長く続けて行く予定です。



高瀬東部支店／綿菓子



高瀬支店／的当てゲーム・ポップコーン



詫間支店／JA香川県オリジナルカレーの試食



三野支店／ハッシュドポテト

大ホールでは、各支店が「的当てゲーム」「ポップコーン」「綿菓子」「つくきたて餅」の屋台を手作りし、来場者に無料で楽しんでもらいました

【三豊地区】

縁日風のお接待や 体験教室で感謝祭を盛り上げました 高瀬統括店

「JA香川県合併20周年記念 合同感謝祭in高瀬」

2月1日(土)

参加者：女性部員18人、職員60人

女性部が小学生を対象に「巻き寿司調理体験」を今回初めて開催し、参加した子どもたちは真剣な表情で巻き寿司を巻いていました



産直市前の特設テントでは、ぜんざいの無料配布と女性部が手芸体験を行いました



2月1日、高瀬支店の3階大ホールと高瀬ふれあい産直市前の駐車場を会場として、合併20周年を記念した「合同感謝祭in高瀬」を開催しました。例年は9月に行っている感謝祭を、合併20周年ということで2月にも開催したものです。ステージイベントやパトカー・白バイ・消防車の記念撮影コーナー、産直市前にはグルメ屋台が並び、ぜんざいの無料配布や当JAオリジナルカレーの試食もあり、大盛況でした。

高瀬統括店管内の4支店はこの機会を活用し、支店協同活動として各々独自にイベントを企画。高瀬地域女性部の協力も得て、組合員や地域の皆さまと交流を深めました。

参加者の声

高瀬女性部
部長 玉尾恵子さん

今回は合併20周年記念ということで、女性部としてもできる限り協力しようと話し合いました。部会員からのアイデアで、節が近いので「恵方巻」にちなんで「巻き寿司体験」を初開催しました。イベントは若い家族連れの方々がたくさん来られ、女性部活動を知って、興味を持ってもらう絶好の機会になりました。



三豊市高瀬町
T.Oさん

JAのイベントがあるときは、いつも子どもが楽しみにしています。“おやつあり、遊びあり”なのがいいですね。今日は子どもと一緒に接待やイベントなど楽しめました。



今月は

モロヘイヤ

露地栽培



1 苗作り

市販の種を育苗する場合は、ポットに2、3粒ずつまき、適宜間引いて、草丈が15cmくらいになったころ畑に植える。

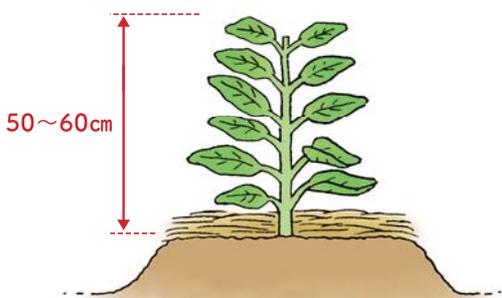
2 畑の準備

元肥・堆肥2kg/m²を全面に施用し深く耕しておく。

5 摘芯

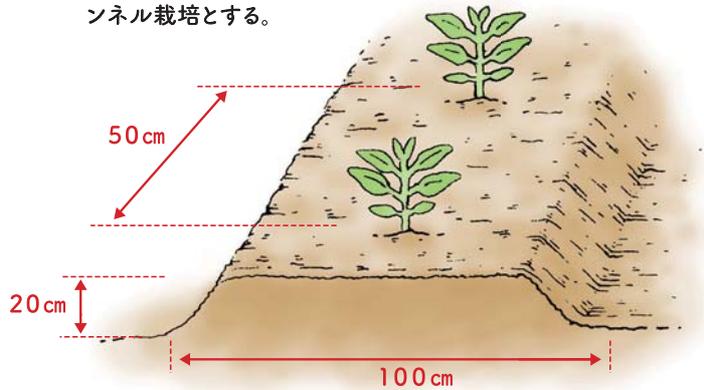
本葉12～13枚の頃から生育が旺盛になり、放置しておくと草丈が2m以上に伸びるので、草丈50～60cmになったら、収穫を兼ねて主枝の摘芯を行い、わき芽の伸長を促す。

- 防乾のため敷きわらをして、よく水をやる。



3 植え付け後

畑が乾いていたら株元に少し水をやる。春先にはやりすぎると地温が下がって生育によくない。低温には弱いので、ポリフィルムをマルチして地温を高めるとよい。早どりしたい場合はトンネル栽培とする。

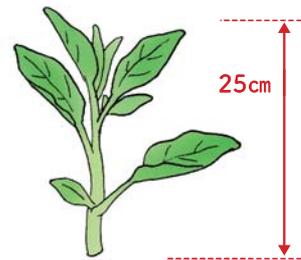


4 追肥

植え付け30～40日後に1回目、収穫開始と1か月おきに追肥する。株間に敷きわらをする。

6 収穫

草丈が50～60cmになったら摘芯を行い、わき芽は2芽程度残して葉先から25cmで収穫する。秋になると葉のつけ根に黄色の花が付き、さやがつく。種には毒性があるので食べないこと。



柔らかい芽先の部分を摘み取って利用する



ホームページ <http://www.kw-ja.or.jp/>

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。



JA香川県
Facebook



JA香川県
Instagram

